

積算チェック項目一覧(電気設備)

H28.4.1適用

No.	項 目	チェック項目	根拠等	受託者		確認	留意点	備考
				対象	設計 チェック	実施日		
1. 共通事項								
1	共通事項	適用基準を確認したか		☐	☐	／		
2		工事予算書を確認したか		☐	☐	／		
3		建物の用途は確認したか		☐	☐	／		
4		社会性(地域、景観)を考慮したか		☐	☐	／		
5	その他	環境保全性(環境負荷、周辺環境)を考慮したか。		☐	☐	／		
6		安全性(防災、機能維持、防犯)を考慮したか。		☐	☐	／		
7		機能性(利便、室内環境、情報化)を考慮したか		☐	☐	／		
8		経済性(耐用、保全)を考慮したか		☐	☐	／		
9		耐震性安全性を考慮したか		☐	☐	／		
10		ユニバーサルデザインについて配慮したか		☐	☐	／		
11		耐風圧・耐塩害対策を考慮したか		☐	☐	／		
12		景観における配慮について、建築と整合を図ったか		☐	☐	／		
13		維持管理性を考慮したか		☐	☐	／		
14		コスト縮減を検討したか		☐	☐	／		
15		建築基準法上必要な設備を確認又は協議(所轄建築主事)したか		☐	☐	／		
16		消防法上必要な設備を確認又は協議(所轄消防署)したか		☐	☐	／		
17		防火区画の区分を確認したか		☐	☐	／		
18		誘導障害について考慮したか		☐	☐	／		
19		電波障害は考慮したか		☐	☐	／		
20		依頼された設計条件を満足しているか(与条件、住民との合意)		☐	☐	／		
21		(依頼・要求事項専用ファイルの整理)						
22		各種基準類と整合しているか		☐	☐	／		
23		基本設計書と整合しているのか		☐	☐	／		
24		設計計算書と整合しているか		☐	☐	／		
25		電気事業者(電力)・通信事業者(NTT等)との協議を行ったか		☐	☐	／		
26		特定メーカーが想定される表記はないか		☐	☐	／		
27		耐風圧・耐塩害対策を考慮したか		☐	☐	／		
28		その他の法、必要な設備又は協議をしたか。		☐	☐	／		
29	建築に対する協議事項	電気関係各室の位置、広さ、天井高さ、仕上げ		☐	☐	／		
30		大形機器搬出入口の位置及び大きさ		☐	☐	／		
31		電力及び通信関係引込み管路の位置及び経路、引込方法		☐	☐	／		
32		配線シャフト(EPS)の位置及び大きさ		☐	☐	／		
33		パイプシャフト、機械室、地下ピットのスペース検討(有効幅、高さ)を行ったか		☐	☐	／		
34		配線ピットの位置、大きさ		☐	☐	／		

積算チェック項目一覧(電気設備)

H28.4.1適用

No.	項 目	チェック項目	根拠等	受託者		確認	留意点	備考
				対象	設計 チェック	実施日		
35	機械設備に対する 協議事項	電気関係各室に必要な消火、空調及び換気設備		☐	☐	／		
36		監視制御方式の点数及び区分		☐	☐	／		
37	柔軟性に対する配慮	機器の寸法、重量及び配置を検討したか		☐	☐	／		
38		機器搬入経路は確保されているか		☐	☐	／		
39		配線スペースは適切か		☐	☐	／		
40		OA化対応を考慮したか(照明、配線、電源容量等)		☐	☐	／		
41		情報通信技術対応を考慮したか(配線、回線容量等)		☐	☐	／		
42		建物のエキスパンション部の配管配線は適切か		☐	☐	／		
43		一般確認事項	火災保険の期間(工期末+14日間まで)を確認したか		☐	☐	／	
44	メーカー仕様・作図がそのまま表記されていないか			☐	☐	／		
45	図面の機器等の数と設計書及びバックデータの数が合っているのか(設計者以外の者が) チェックしたか			☐	☐	／		
46	運転燃料等を納入する場合、設計書に記載したか			☐	☐	／		
47	足場の必要性及び工事区分を確認したか。			☐	☐	／		
2. 特記仕様書								
48	特記仕様書	工事名称を確認したか		☐	☐	／		
49		工事場所の住所を確認したか		☐	☐	／		
50		工事種目を確認したか		☐	☐	／		
50		敷地面積を確認したか		☐	☐	／		
51		建物毎の面積が建築工事と整合しているのか		☐	☐	／		
52		屋上階、地下階が基準法上の階扱いを確認したか		☐	☐	／		
53		建物別の範囲が建築工事と整合しているか		☐	☐	／		
54		消防法施行令別表第1の区分を確認したか		☐	☐	／		
55		指定部分の有無、範囲を確認したか		☐	☐	／		
56		工事実績情報の登録の有無を確認したか		☐	☐	／		
57		適正工期を確認したか		☐	☐	／		
58		電気工作物保安規程の適用の有無を確認したか(高圧受電の場合)		☐	☐	／		
59		第一種電気工事士の必要の有無を確認したか(高圧受電の場合)		☐	☐	／		
60		工事用電力及び水を確認したか		☐	☐	／		
61		工事用仮設物用に構内が利用できるか		☐	☐	／		
62		監督員事務所の有無を確認したか		☐	☐	／		
63		発生材の有無、処理方法を確認したか		☐	☐	／		
64		分別すれば再生資源の利用可能な発生材がないか		☐	☐	／		
65		特別管理産業廃棄物がないか		☐	☐	／		
66		土工事は、他工事や他工種と2重計上になっていないか		☐	☐	／		
67	残土処分は適当か。構内敷均しで対応できないか		☐	☐	／			

積算チェック項目一覧(電気設備)

H28.4.1適用

No.	項 目	チェック項目	根拠等	受託者		確認 実施日	留意点	備考
				対象	設計 チェック			
68		完成図書の適用の有無を確認したか		☐	☐	／		
69		耐震安全性の分類を確認したか(施設、機器)		☐	☐	／		
70		他工事との工事範囲や要求事項を確認したか		☐	☐	／		
71		建築工事(口点検口、口梁貫通箇所、口開口切込補強、受変電盤・発電の基礎、ロピット、ロビーム)		☐	☐	／		
72		機械工事(口空調、口換気、口給排水、口消火)		☐	☐	／		
73		接地極の必要の有無を確認したか		☐	☐	／		
74		B種接地抵抗値を確認したか(高圧受電の場合)		☐	☐	／		
75		EMケーブルの適用を確認したか		☐	☐	／		
76		機器取付高さの適用の有無を確認したか		☐	☐	／		
77		蛍光灯の安定器種別を確認したか		☐	☐	／		
78		能力等が設計計算書と整合がとれているか		☐	☐	／		
79		通信設備の適用の有無を確認したか		☐	☐	／		
80		構内線路の適用の有無を確認したか		☐	☐	／		
81		耐塩害仕様が必要な機器を確認したか		☐	☐	／		
82		図面記載事項で別途工事になるものはないか		☐	☐	／		
83		図面訂正事項での修正がなされているか		☐	☐	／		
84		施工管理方法について確認したか		☐	☐	／		
85		建設機械の必要の有無を確認したか		☐	☐	／		
86		工事に係る関係書類の有無を確認したか		☐	☐	／		
87		リサイクルの適用の有無を確認したか		☐	☐	／		
88		完成図書の適用を確認したか		☐	☐	／		
89		他工事との工事範囲を確認したか		☐	☐	／		
90		基礎等の工事範囲を確認したか		☐	☐	／		
91		自動制御工事と整合しているか		☐	☐	／		
92		エレベーター工事と整合しているか		☐	☐	／		
92		埋戻し土の仕様の確認をしたか		☐	☐	／		
93		施工区分について、建築工事、電気設備工事と整合したか		☐	☐	／		
94		適用基準を確認したか		☐	☐	／		
93	設備機材等指定表・ 凡例表	配線図と特記が整合しているか		☐	☐	／		
94	案内図、配置図 建物断面	工事敷地が確認できるか		☐	☐	／		
95		方位が記載されているか		☐	☐	／		
96		設計GL、整地地盤高が確認できるか		☐	☐	／		
97		各階FL、階高が確認できるか		☐	☐	／		
98		天井高が確認できるか		☐	☐	／		

積算チェック項目一覧(電気設備)

H28.4.1適用

No.	項 目	チェック項目	根拠等	受託者		確認	留意点	備考
				対象	設計 チェック	実施日		
3. 電灯設備								
99	機器	照明器具の選定及び取付け場所は適切か		☐	☐	／		
100		照度は適正か		☐	☐	／		
101		照度分布はバランス良いか		☐	☐	／		
102		照明の演色性は考慮しているか		☐	☐	／		
103		器具配置は適切か		☐	☐	／		
104		照明器具の建築意匠との整合は図ったか(取付位置、形状)		☐	☐	／		
105		照明同一器具で100V、200V混在していないか		☐	☐	／		
106		Hf器具の安定器種別は適切か		☐	☐	／		
107		安定器の回路方式は適切か		☐	☐	／		
108		特注機器の採用について必要性を十分検討したか		☐	☐	／		
109		防雨・防湿形器具の枠の材質は防錆を考慮したか		☐	☐	／		
110		ランプの交換は容易にできるか		☐	☐	／		
111		特殊なランプは使用していないか		☐	☐	／		
112		器具の特殊環境に対する仕様は適切か		☐	☐	／		
113		スイッチの位置は適切か		☐	☐	／		
114		点滅区分は適度に分かれているか		☐	☐	／		
115		照明制御装置は適切か		☐	☐	／		
116		スイッチは障害者に対応したか		☐	☐	／		
117		接地線は適切か		☐	☐	／		
118	配線	電線サイズ及び本数は適切か		☐	☐	／		
119		配線方法は適切か		☐	☐	／		
120		回路区分は適切か		☐	☐	／		
121		許容電流及び電圧降下は適正か		☐	☐	／		
122		ブルボックスの種別、大きさは適切か		☐	☐	／		
123		位置ボックスに合計16芯以上の配線をしていないか		☐	☐	／		
124		屋根スラブ及び外壁埋込配管がないか(結露)		☐	☐	／		
125		必要な天井点検口が建築工事にあるか		☐	☐	／		
126		非常照明は必要ないか(面積、無窓の居室共)		☐	☐	／		
127		無窓の休憩室等に非常用照明は付いているか		☐	☐	／		
128		無窓階の確認をしたか		☐	☐	／		
129		誘導灯は必要ないか		☐	☐	／		
130		誘導灯仕様について障害者への対応を考慮したか		☐	☐	／		
131		防災負荷用電源は適切か		☐	☐	／		
132		防災負荷用配線は適切か		☐	☐	／		
133		分電盤の形式、配置及び設置位置は適切か		☐	☐	／		

積算チェック項目一覧(電気設備)

H28.4.1適用

No.	項 目	チェック項目	根拠等	受託者		確認 実施日	留意点	備考
				対象	設計 チェック			
134		防災用分電盤の形式及び設置位置は適切か		☐	☐	／		
135	コンセント	コンセントの形式及び設置個数は適切か		☐	☐	／		
136		要望の位置に、コンセントはついてるか		☐	☐	／		
137		1回路当たりのコンセント数は良いか		☐	☐	／		
138		別途整備の端末システムに対応しているか		☐	☐	／		
139		コンセントと回路容量が適合しているか		☐	☐	／		
140		コンセントと電線サイズが適合しているか		☐	☐	／		
141		保守点検及び掃除用コンセントは考慮されているか		☐	☐	／		
142		取付高さは適切か		☐	☐	／		
143		特殊機器は、単独回路にしているか		☐	☐	／		
144		特殊機器のコンセント形状は良いか		☐	☐	／		
145		特殊機器の名称、負荷容量を記入しているか		☐	☐	／		
146		防水・防湿仕様を確認したか		☐	☐	／		
147		接地付コンセントの必要の有無を確認したか		☐	☐	／		
148		接地線は適切か		☐	☐	／		
149		C種接地工事は必要ないか(屋外、水廻り)		☐	☐	／		
150		他工事の電気容量と整合は取れているか		☐	☐	／		
151		電線サイズは適切か		☐	☐	／		
152		配線方法は適切か		☐	☐	／		
153		回路区分は適切か		☐	☐	／		
154		電圧区分は適切か		☐	☐	／		
155		許容電流及び電圧降下は適正か		☐	☐	／		
156		外壁にコンセントを配置していないか(結露)		☐	☐	／		
157		屋根スラブ及び外壁埋込配管がないか(結露)		☐	☐	／		
158	分電盤単線	盤及び幹線名称が適切か		☐	☐	／		
159		幹線サイズと主幹器具の容量は適合しているか		☐	☐	／		
160		主幹器具の容量は適正か(フレーム、遮断容量)		☐	☐	／		
161		幹線の入線方向は特記したか		☐	☐	／		
162		特殊環境に対する仕様は適切か		☐	☐	／		
163		分岐回路と負荷容量は適正か		☐	☐	／		
164		OA回路は耐雷対策が施してあるか		☐	☐	／		
165		電圧区分は適切か		☐	☐	／		
166		各相の負荷容量は平衡しているか		☐	☐	／		
167		防災回路は適切に設けてあるか		☐	☐	／		
168		自家発回路は適切に設けてあるか		☐	☐	／		
169		水気及び湿気のある場所の回路は漏電遮断器か		☐	☐	／		

積算チェック項目一覧(電気設備)

H28.4.1適用

No.	項 目	チェック項目	根拠等	受託者		確認	留意点	備考
				対象	設計 チェック	実施日		
170		リモコン回路は適切に設けてあるか(集中管理の場合)		☐	☐	／		
171		予備回路は確保されているか		☐	☐	／		
172		電力量計の位置は適切か		☐	☐	／		
173		分電盤の形式、平面位置及び高さは適切か(通行の支障、操作の支障)		☐	☐	／		
174		防災用分電盤の形式及び設置位置は適切か		☐	☐	／		
175		OA分電盤の形式、配置及び設置位置は適切か		☐	☐	／		
176		自動制御工事と整合しているか		☐	☐	／		
177	電灯幹線及び系統	幹線の電気方式は適切か		☐	☐	／		
178		負荷の重要度を考慮しているか		☐	☐	／		
179		幹線経路は適切か		☐	☐	／		
180		防災電源系統は適切か		☐	☐	／		
181		系統分岐方式は適切か		☐	☐	／		
182		計量を考慮した系統に配慮しているか		☐	☐	／		
183		保守点検を考慮した系統に配慮しているか		☐	☐	／		
184		許容電流及び電圧降下は適正か		☐	☐	／		
185		幹線サイズと主幹器具の容量は適合しているか		☐	☐	／		
186		エレベータの許容最大電圧降下の範囲は適切か		☐	☐	／		
187		機械設備側負荷力率との調整がとれているか		☐	☐	／		
188		配電用変圧器と負荷設備系統は適切か		☐	☐	／		
189		電路保護(過負荷・短絡・地絡)は適切か		☐	☐	／		
190		高調波を考慮しているか		☐	☐	／		
191		誘導障害を考慮した系統に配慮しているか		☐	☐	／		
192		配線方法は適切か(電線管・ケーブルラック・金属ダクト)		☐	☐	／		
193		接地線は適切か		☐	☐	／		
194		ブルボックスの種別、大きさは適切か		☐	☐	／		
195		ケーブルラックの種別、幅は適切か		☐	☐	／		
196		将来の幹線ルートは確保されているか(予備管、更新スペース)		☐	☐	／		
197		配線室の配置は適切か		☐	☐	／		
4. 動力設備								
198	動力配線	制御盤の位置は適切か(機械室入口付近等)		☐	☐	／		
199		機器点検スペースが適正に確保されているか		☐	☐	／		
200		電動機容量と電線サイズは適合しているか		☐	☐	／		
201		許容電流及び電圧降下は適正か		☐	☐	／		
202		区分開閉器の形式及び配置は適切か		☐	☐	／		
203		自動制御工事と整合しているか		☐	☐	／		
204		配線方法は適切か		☐	☐	／		

積算チェック項目一覧(電気設備)

H28.4.1適用

No.	項 目	チェック項目	根拠等	受託者		確認 実施日	留意点	備考
				対象	設計 チェック			
205		電圧区分は適切か		☐	☐	／		
206		接地線は適切か		☐	☐	／		
207		プルボックスの種別、大きさは適切か		☐	☐	／		
208		必要な点検口が建築工事にあるか		☐	☐	／		
209		梁貫通部分を明記しているか		☐	☐	／		
210		屋上露出配管、機器の耐風圧・耐塩害対策を考慮したか		☐	☐	／		
211		屋根スラブ及び外壁埋込配管がないか(結露)		☐	☐	／		
212		防災負荷用配線は適切か		☐	☐	／		
213		防災用制御盤の形式及び設置位置は適切か		☐	☐	／		
214	動力制御盤単線接続	盤及び幹線名称が適切か		☐	☐	／		
215		幹線サイズと主幹器具の容量は適合しているか		☐	☐	／		
216		主幹器具の容量は適正か(フレーム、遮断容量)		☐	☐	／		
217		制御盤の形式は適切か		☐	☐	／		
218		特殊環境に対する仕様は適切か		☐	☐	／		
219		電動機出力等は機械設備と整合しているか		☐	☐	／		
220		電動機の操作方式は適切か		☐	☐	／		
221		電動機の保護(過負荷・短絡)は適正か		☐	☐	／		
222		GT(変流器)の設置は適切か(太陽光発電設備などの電流測定)		☐	☐	／		
223		インバーターの工事範囲を確認したか		☐	☐	／		
224		自動制御工事と整合しているか		☐	☐	／		
225		インターロック(安全装置)等は適切か		☐	☐	／		
226		水気及び湿気のある場所の回路は漏電遮断器か		☐	☐	／		
227		ELCBの二重ラインはないか		☐	☐	／		
228		警報等は確認したか		☐	☐	／		
229		火災信号による空調機、給排気の停止は適切か		☐	☐	／		
230		SC(電力用コンデンサ)の設置は適切か(高圧受電)		☐	☐	／		
231		防災設備回路は適切に設けてあるか		☐	☐	／		
232		自家発回路は適切に設けてあるか		☐	☐	／		
233	運転ブロック	必要な制御が明確の記載されているか		☐	☐	／		
234		機械工事と重複している制御・監視項目がないか		☐	☐	／		
235		インターロック等、機械工事と工事範囲が明確か		☐	☐	／		
236		機器付属制御盤の機能と整合がとれているか		☐	☐	／		
237		運転操作は適正か(中央監視の場合)		☐	☐	／		
238		中央監視点数が経済的か(監視装置点数に整合)		☐	☐	／		
239		必要な操作・表示・計測機能が確保されているか		☐	☐	／		
240		特に必要のない機能を要求していないか		☐	☐	／		

積算チェック項目一覧(電気設備)

H28.4.1適用

No.	項 目	チェック項目	根拠等	受託者		確認 実施日	留意点	備考
				対象	設計 チェック			
241	動力幹線及び系統	空調機などの漏電防止・ヤモリ等の対策がなされているか		☐	☐	／		
242		火災信号による空調機、給排気の停止は確認したか		☐	☐	／		
243		自家発回路との整合がとれているか		☐	☐	／		
244		幹線の電気方式は適切か		☐	☐	／		
245		負荷の重要度を考慮しているか(各メーカー比較での最大容量の採用)		☐	☐	／		
246		幹線経路は適切か		☐	☐	／		
247		防災電源系統は適切か		☐	☐	／		
248		系統分岐方式は適切か		☐	☐	／		
249		計量を考慮した系統に配慮しているか		☐	☐	／		
250		保守点検を考慮した系統に配慮してるか		☐	☐	／		
251		許容電流及び電圧降下は適正か		☐	☐	／		
252		幹線サイズと主幹器具の容量は適合しているか		☐	☐	／		
253		エレベータの許容最大電圧降下の範囲は適切か		☐	☐	／		
254		機械設備側負荷力率との調整がとれているか		☐	☐	／		
255		配電用変圧器と負荷設備系統は適切か		☐	☐	／		
256		電路保護(過負荷・短絡・地絡)は適切か		☐	☐	／		
257		高調波を考慮しているか		☐	☐	／		
258		誘導障害(高圧事故)を考慮した系統に配慮しているか		☐	☐	／		
259		配線方法は適切か(電線管・ケーブルラック・金属ダクト)		☐	☐	／		
260		接地線は適切か		☐	☐	／		
261		プルボックスの種別、大きさは適切か		☐	☐	／		
262		ケーブルラックの種別、幅は適切か		☐	☐	／		
263	将来の幹線ルートは確保されているか(予備管、更新スペース)		☐	☐	／			
264	配線室の配置は適切か		☐	☐	／			
5. 雷保護設備								
265	避雷設備配線	保護範囲は適切か		☐	☐	／		
266		保護方式は適切か		☐	☐	／		
267		屋上設置の機器が保護されているか		☐	☐	／		
268		支持管の管径および肉厚は適切か		☐	☐	／		
269		避雷針の設置位置及び引下げ導線数は適正か		☐	☐	／		
270		接地端子箱の形式及び設置場所は適切か		☐	☐	／		
271		接地極の設置は適切か		☐	☐	／		
272		接地極の種類は適切か		☐	☐	／		
273		建築工事との調整は確認したか		☐	☐	／		
274		電食の対応は適切か		☐	☐	／		
275		OA機器、通信機器との保護協調は適切か		☐	☐	／		

積算チェック項目一覧(電気設備)

H28.4.1適用

No.	項 目	チェック項目	根拠等	受託者		確認	留意点	備考
				対象	設計 チェック	実施日		
276		耐風圧・耐塩害対応は適切か		☐	☐	／		
6. 受変電設備								
277	受変電設備単線接続及び電気室配線	受変電設備方式は適切か		☐	☐	／		
278		配電盤形式は適切か		☐	☐	／		
279		変圧器容量、種別及びバランスは適切か		☐	☐	／		
280		インバーター機器が多い場合、トランスの容量UPを考慮したか		☐	☐	／		
281		保護(過電流・短絡・地絡)は適切か		☐	☐	／		
282		制御・監視方式は適切か		☐	☐	／		
283		警報項目は適切か		☐	☐	／		
284		停電連係は適切か		☐	☐	／		
285		定格遮断電流は適切か		☐	☐	／		
286		配線用遮断器の容量は適正か		☐	☐	／		
287		デマンド監視装置の設置位置は適切か		☐	☐	／		
288		電力量計の設置位置は適切か		☐	☐	／		
289		接地端子箱の形式及び設置場所は適切か		☐	☐	／		
290		接地は適切か		☐	☐	／		
291		電気室の面積は適正に確保されているか		☐	☐	／		
292		上階に水関係機器がないか確認したか		☐	☐	／		
293		外壁貫通部などの止水方法を検討したか		☐	☐	／		
294		電気室を貫通する部分は耐火処理されているか		☐	☐	／		
295		低圧幹線の引出しルートは確保されているか		☐	☐	／		
296		高圧幹線の引込ルートは確保されているか		☐	☐	／		
297		高低圧配線の離隔が確保できるか		☐	☐	／		
298		機器点検スペースが適正に確保されているか		☐	☐	／		
299		将来の増設スペースを考慮したか		☐	☐	／		
300		換気について機械設備と協議したか		☐	☐	／		
301	静止形電源設備 接続	直流電源装置のシステム構成は適切か		☐	☐	／		
302		整流装置の定格直流電流は適切か		☐	☐	／		
303		蓄電池の容量は適正か		☐	☐	／		
304		機器点検スペースが適正に確保されているか		☐	☐	／		
305		換気について機械設備と協議したか		☐	☐	／		
7. 電力貯蔵設備								
306	無停電電源設備	UPSに接続する負荷は適切か		☐	☐	／		
307		UPSの定格出力は適切か		☐	☐	／		
308		逆変換装置の方式は適切か		☐	☐	／		
309		蓄電池の種類は適正か		☐	☐	／		

積算チェック項目一覧(電気設備)

H28.4.1適用

No.	項 目	チェック項目	根拠等	受託者		確認 実施日	留意点	備考
				対象	設計 チェック			
310		最低蓄電池温度は適切か		☐	☐	／		
311		停電補償時間は適切か		☐	☐	／		
312		機器の離隔距離は適正か		☐	☐	／		
313		換気について機械設備と協議したか		☐	☐	／		
314		機器の離隔距離は適正か		☐	☐	／		
315		換気について機械設備と協議したか		☐	☐	／		
8. 発電設備								
316	発電設備接続及び発電機室配線	発電装置の出力及び形式は適切か		☐	☐	／		
317		一般時と防災時の容量を確認したか		☐	☐	／		
318		連続運転可能時間は適切か		☐	☐	／		
319		停電連系は適切か		☐	☐	／		
320		配電盤の形式は適切か		☐	☐	／		
321		低騒音が必要な機器の確認をしたか		☐	☐	／		
322		冷却方式は適切か		☐	☐	／		
323		警報項目は適切か		☐	☐	／		
324		機器の耐風圧・耐塩害対策は確認したか		☐	☐	／		
325		関連補機類の能力が整合しているか		☐	☐	／		
326		使用燃料の種類と給油方式、量は適切か		☐	☐	／		
327		燃料配管のルートは確保されているか		☐	☐	／		
328		燃料小出槽と機関との離隔は適切か		☐	☐	／		
329		防油提容量は適切か		☐	☐	／		
330		機関と排気箇所に関連位置は適切か(排圧)		☐	☐	／		
331		排気管の位置と他の吸気ガラリ等との離隔は適正か		☐	☐	／		
332		排気管の断熱は適切か		☐	☐	／		
333		給排気は適切か		☐	☐	／		
334		吸気と排気のショートサーキットは検討しているか		☐	☐	／		
335		給排気ガラリの耐風圧・耐塩害対策を考慮したか		☐	☐	／		
336		機器の配置は適切か		☐	☐	／		
337		幹線の引出しルートは確保されているか		☐	☐	／		
338		機器点検スペースが適正に確保されているか		☐	☐	／		
339		発電機室を貫通する部分は耐火処理されているか		☐	☐	／		
340		上階に水関係機器がないか確認したか		☐	☐	／		
341		主燃料槽の有無と配置は適切か		☐	☐	／		
342		基礎等の工事範囲を確認したか		☐	☐	／		
343		換気について機械設備と協議したか		☐	☐	／		

積算チェック項目一覧(電気設備)

H28.4.1適用

No.	項 目	チェック項目	根拠等	受託者		確認	留意点	備考
				対象	設計 チェック	実施日		
9. 構内情報通信網設備								
344	構内配電・通信線路	方位が記載されているか		☐	☐	／		
345		ベンチマーク、設計GL、整地地盤高を確認したか		☐	☐	／		
346		敷地境界線を確認したか		☐	☐	／		
347		関係官署との工事範囲を確認したか		☐	☐	／		
348		建築外構図と整合しているか		☐	☐	／		
349		建物外部足場等との支障がないか		☐	☐	／		
350		安全性を確認したか(仮設足場の設置等)		☐	☐	／		
351		地盤沈下対策が必要であるか		☐	☐	／		
352		延焼の恐れのある外壁面の開口部の確認をしたか		☐	☐	／		
353		機器騒音の確認をしたか		☐	☐	／		
354		敷地内の引込み制限等を確認したか		☐	☐	／		
355		電力、通信の引込み位置等を確認したか		☐	☐	／		
356		建物引込み部に予備配管を検討したか		☐	☐	／		
357		建物外壁貫通部の処置(防水・耐震等の対策)は適切か		☐	☐	／		
358		建築の外講計画と整合しているか		☐	☐	／		
359		ハンドホール設置位置及び形式は適切か		☐	☐	／		
360		車両通過箇所の埋設物の耐荷重を確認したか		☐	☐	／		
361		配線方法は適切か(地中線路・架空線路)		☐	☐	／		
362		管路の太さは、ケーブルサイズに適合しているか		☐	☐	／		
363		敷地管路及び深さを確認し記載したか		☐	☐	／		
364		地中線埋設標の位置、種別を確認したか		☐	☐	／		
365		電力線路、通信線路用埋設標識シートは設けたか		☐	☐	／		
366		支柱、支線は適切か		☐	☐	／		
367		耐塩害仕様が必要な機器を確認したか		☐	☐	／		
368		高調波対策の適用を確認したか(高圧受電の場合)		☐	☐	／		
369		最多風向を確認したか		☐	☐	／		
370		耐風圧・耐塩害による機器破損の恐れはないか		☐	☐	／		
371		耐風圧・耐塩害に対する外灯の構造は確認したか		☐	☐	／		
372		外灯の台数・W数及び位置は適切か		☐	☐	／		
373		外灯の安定器の回路方式は適切か		☐	☐	／		
374		屋外照明のゾーニング計画及び光害防止は検討されているか(他からのもらい光)		☐	☐	／		
375		接地極の種類は適切か		☐	☐	／		
376		接地線は適切か		☐	☐	／		

積算チェック項目一覧(電気設備)

H28.4.1適用

No.	項 目	チェック項目	根拠等	受託者		確認	留意点	備考
				対象	設計 チェック	実施日		
10. 構内交換設備								
377	構内交換設備配線	局線数は、確認したか		☐	☐	／		
378		専用回線の確認はしたか		☐	☐	／		
379		通信業者の確認はしたか		☐	☐	／		
380		内線数の確認はしたか		☐	☐	／		
381		電話機の機種、機能は特記されているか		☐	☐	／		
382		交換機の容量は適切か(予備を見込む)		☐	☐	／		
383		局線応答方式は適切か		☐	☐	／		
384		蓄電池容量は適切か(予備を含んでいるか)		☐	☐	／		
385		ターミナルアダプタ(信号交換機器)を確認したか		☐	☐	／		
386		将来のシステム拡張を考慮しているか		☐	☐	／		
387		幹線系統は適切か		☐	☐	／		
388		端子盤の配置、形式、容量(増設スペース)適切か		☐	☐	／		
389		配線方法は適切か		☐	☐	／		
390		CS(構内PHSの基地局)の設置位置は適切か		☐	☐	／		
391		誘導障害(避雷保護、配線長さ)を考慮した系統に配慮しているか		☐	☐	／		
392		ブルボックスの種別、大きさは適切か		☐	☐	／		
393		ケーブルラックの種別、幅は適切か		☐	☐	／		
394		接地線は適切か		☐	☐	／		
395		機器点検スペースが適正に確保されているか		☐	☐	／		
396		電話交換室、配線室の配置は適切か		☐	☐	／		
397		光引込の借地扱いについてNTTに確認したか		☐	☐	／		
398	統合配線	配線方法は適切か		☐	☐	／		
399		カテゴリーの種別は良いか		☐	☐	／		
400		ケーブル長さは、適切か		☐	☐	／		
401		UTP(LANケーブル)パッチパネルの容量は適切か		☐	☐	／		
402	構内情報通信網設備	ネットワーク方式は適切か		☐	☐	／		
403		必要機能は満足しているか		☐	☐	／		
404		ルータの機能は適切か		☐	☐	／		
405		通信プロトコルは適切か		☐	☐	／		
406		データ処理能力は適切か		☐	☐	／		
407		配線方式は適切か		☐	☐	／		
408		幹線経路は適切か		☐	☐	／		
409		将来増設に対する余裕を考慮したか		☐	☐	／		
410		機器及び配線の工事区分を確認したか		☐	☐	／		
411		架設置室の換気及び空調は適切か		☐	☐	／		

積算チェック項目一覧(電気設備)

H28.4.1適用

No.	項 目	チェック項目	根拠等	受託者		確認	留意点	備考
				対象	設計 チェック	実施日		
11. 情報表示設備								
412	情報表示設備配線	親時計の設置位置は適切か		☐	☐	／		
413		親時計の形式及び回線数は適切か		☐	☐	／		
414		時刻自動調整用配線はされているか		☐	☐	／		
415		配線方法は適切か		☐	☐	／		
416		1系統当りの子時計の数は適切か		☐	☐	／		
417		子時計の設置位置は適切か		☐	☐	／		
418		各諸室等の子時計は、建築と打合せしたか		☐	☐	／		
419		プルボックスの種別、大きさは適切か		☐	☐	／		
420		端子盤の配置、形式、容量(増設スペース) 適切か		☐	☐	／		
421		情報表示装置の形式、機能は適切か		☐	☐	／		
422		情報表示盤の設置は建築と調整が取れているか		☐	☐	／		
423		表示操作制御部の設置位置は適切か		☐	☐	／		
424		情報表示方式は適切か		☐	☐	／		
425		発光ダイオードの表示方法は記載されているか		☐	☐	／		
426		将来のシステム拡張を考慮しているか		☐	☐	／		
427		発信器の設置位置は適切か		☐	☐	／		
428		電源は確保されているか		☐	☐	／		
429		配線方法は適切か		☐	☐	／		
430	通信・情報設備系統	各機器の設置位置は適切か		☐	☐	／		
431		表示装置の配線は適切か		☐	☐	／		
432		将来増設に対する余裕を考慮したか		☐	☐	／		
433		幹線経路は適切か		☐	☐	／		
434		系統分岐方式は適切か		☐	☐	／		
435		配線方法は適切か		☐	☐	／		
436		保守点検を考慮した系統に配慮しているか		☐	☐	／		
437		将来の幹線ルートは確保されているか		☐	☐	／		
438		誘導障害(避雷保護、配線長さなど)を考慮した系統に配慮しているか		☐	☐	／		
439		接地工事種別は適切か		☐	☐	／		
440		接地端子箱の形式及び設置場所は適切か		☐	☐	／		
441		プルボックスの種別、大きさは適切か		☐	☐	／		
442		ケーブルラックの種別、幅は適切か		☐	☐	／		
443		配線室の配置は適切か		☐	☐	／		
444		通信・情報機器仕様 及び姿図	機器が共通仕様書に適合しているか		☐	☐	／	
445	他の通信設備と機能・能力が整合しているか			☐	☐	／		

積算チェック項目一覧(電気設備)

H28.4.1適用

No.	項 目	チェック項目	根拠等	受託者		確認	留意点	備考
				対象	設計 チェック	実施日		
12. 映像・音響設備								
446	映像・音響設備配線	音響システムは適切か(アンプ、マイク、ワイヤレス)		☐	☐	／		
447		増幅器の出力は適切か		☐	☐	／		
448		増幅器の付加機能は特記されているか		☐	☐	／		
449		スピーカの形式及び配置は適切か		☐	☐	／		
450		ワイヤレスアンテナの配置は適切か		☐	☐	／		
451		ビデオプロジェクタの選定は適切か		☐	☐	／		
452		スクリーンの選定は適切か		☐	☐	／		
453		機器の設置位置は適切か		☐	☐	／		
454		誘導障害(ノイズ、映像の乱れなど)を考慮した配線をしているか(径、長さなど)		☐	☐	／		
455		換気について機械設備と協議したか(無窓時)		☐	☐	／		
456		電動昇降用の機器スイッチと照明スイッチの設置場所は適切か		☐	☐	／		
457	照明調光との区分は適切か		☐	☐	／			
13. 拡声設備								
458	拡声設備配線	増幅器の設置位置は適切か		☐	☐	／		
459		増幅器の出力は適切か		☐	☐	／		
460		増幅器の付加機能は特記されているか(アナウンスマシンの必要性は)		☐	☐	／		
461		MD、CD、カセット等の有無は確認したか		☐	☐	／		
462		居室にアッテネータが付いているか		☐	☐	／		
463		スピーカの形式は適切か		☐	☐	／		
464		スピーカの設置位置は適切か		☐	☐	／		
465		非常放送時のローカルアンプの電源遮断がなされるか		☐	☐	／		
466		配線方法は適切か(非常放送は耐熱になっているか)		☐	☐	／		
467		放送方式・系統は良いか		☐	☐	／		
468		端子盤の配置、形式、容量(増設スペース)適切か		☐	☐	／		
469		エレベーター制御盤へ放送を配信したか		☐	☐	／		
470		拡声の遠隔操作(RM)の位置、局数は適切か		☐	☐	／		
14. 誘導支援設備								
471	誘導支援設備配線	身体障害者インターホンの形式は用途を満足しているか		☐	☐	／		
472		親機及び子機の設置位置は適切か		☐	☐	／		
473		高齢者、障害者対応は十分か(多目的トイレ、シャワー室)		☐	☐	／		
474		音声誘導装置の方式は適切か		☐	☐	／		
475		小型受信機式選定の場合、玄関近くのスピーカーに対しての休日管理を検討したか		☐	☐	／		
476		杖誘導方式選定の場合、建築の誘導ブロックとの整合をとったか		☐	☐	／		
477	呼出し設備配線	インターホンの形式は用途を満足しているか		☐	☐	／		
478		親機及び子機の設置位置は適切か		☐	☐	／		

積算チェック項目一覧(電気設備)

H28.4.1適用

No.	項 目	チェック項目	根拠等	受託者		確認 実施日	留意点	備考
				対象	設計 チェック			
479		インターホン用途ごとに系統が考慮されているか		☐	☐	／		
480		カメラ付子機を採用した場合の照明を考慮したか		☐	☐	／		
481		エレベータ用の配管は考慮されているか		☐	☐	／		
482		電話機で代替できないか検討したか		☐	☐	／		
483					☐	☐	／	
15. テレビ共同受信設備								
484	テレビ共同受診設備配線	アンテナの位置は適切か		☐	☐	／		
485		アンテナの選定は適切か		☐	☐	／		
486		直列ユニットの配置は適切か		☐	☐	／		
487		配線系統は適切か		☐	☐	／		
488		端末でのレベルは適切か		☐	☐	／		
489		CATVのある地区で引込み配管は考慮しているか		☐	☐	／		
490		衛星放送受信用の予備配管を入れたか		☐	☐	／		
16. 監視カメラ設備								
491	監視カメラ設備	各機器の設置場所は適切か		☐	☐	／		
492		カメラの形式は適切か(旋回、ズーム等、赤外線等)		☐	☐	／		
493		監視範囲は適正か(死角はないか)		☐	☐	／		
494		将来増設に対する余裕を考慮したか		☐	☐	／		
495		監視最小照度は適切か		☐	☐	／		
496		監視下に必要な機能を有しているか(防犯、防災との関係)		☐	☐	／		
497		録画方式、録画時間等は調整済みか		☐	☐	／		
17. 駐車場管制設備								
498	駐車場管制設備	各機器の設置場所は適切か		☐	☐	／		
499		発券方式は適切か		☐	☐	／		
500		保守点検に配慮したか		☐	☐	／		
501		管制方式は適切か		☐	☐	／		
502		ループコイルの埋設深さは適切か		☐	☐	／		
503		ループコイル付属リード線は管制盤まで通線できるか		☐	☐	／		
504		警報盤の大きさ、鳴動音、位置は適切か		☐	☐	／		
505		警報盤内に「試験－自動」の自動切替スイッチ(COS)を付属させたか		☐	☐	／		
506		光線検知方式の受光器側の配置は適切か		☐	☐	／		
507		画像認識装置設置の場合、機器仕様を確認したか		☐	☐	／		
18. 防犯・入退室管理設備								
508	防犯設備配線	システムを検討したか		☐	☐	／		
509		火報受信機、MDF(配線分配装置)と装置間の配管は考慮したか		☐	☐	／		
510		電気錠の場合、建築との調整を行ったか		☐	☐	／		

積算チェック項目一覧(電気設備)

H28.4.1適用

No.	項 目	チェック項目	根拠等	受託者		確認	留意点	備考
				対象	設計 チェック	実施日		
511	入退室管理設備	他設備との連係は適切か		☐	☐	／		
512		最終退庁口の調整は行ったか(照明の考慮)		☐	☐	／		
513		入居官署との了解を得たか		☐	☐	／		
514		各機器の設置位置は適切か		☐	☐	／		
515		管理範囲は適正か		☐	☐	／		
516		認識方式は適切か		☐	☐	／		
517		将来増設に対する余裕を考慮したか		☐	☐	／		
518		他設備との連係は適切か		☐	☐	／		
19. 火災報知設備								
519	火災報知設備配線	警戒区域は適切か(防火区画、防煙区画等)		☐	☐	／		
520		受信機の形式、回線は適切か		☐	☐	／		
521		受信機、副受信機の設置位置は適切か		☐	☐	／		
522		感知器の種別及び設置は適切か		☐	☐	／		
523		地区ベルの配置は適切か		☐	☐	／		
524		電源及び配線は適切か		☐	☐	／		
525		非常放送時において、地区ベルが重複していないか(非常放送の場合ベルは免除)		☐	☐	／		
526	自動閉鎖設備配線	防火戸は建築と調整を行ったか		☐	☐	／		
527		煙感知器の形式は適切か		☐	☐	／		
528		防火・防煙ダンパーは機械と調整を行ったか		☐	☐	／		
529		防煙ダンパーは動作表示が適切か		☐	☐	／		
530		警戒区域との連係は適切か		☐	☐	／		
531		電源及び配線は適切か		☐	☐	／		
20. 中央監視制御設備								
532	中央監視制御設備	中央監視制御装置の形式、構成及び機能は適切か		☐	☐	／		
533		制御の工事範囲において機械との重複はないか		☐	☐	／		
534		将来増設に対する余裕を考慮したか		☐	☐	／		
535		停電対策は適切か		☐	☐	／		
536		機器インターフェイス(接続部分)の工事区分は適切か		☐	☐	／		
21. 太陽光発電設備								
537	太陽光発電設備	太陽電池アレイの定格出力は適切か		☐	☐	／		
538		系統連系の運転方式が記載されているか		☐	☐	／		
539		太陽電池に接続する負荷は適切か		☐	☐	／		
540		太陽電池アレイの位置は適切か		☐	☐	／		
541		機器の離隔距離は適正か		☐	☐	／		
542		幹線引出しに支障はないか		☐	☐	／		
543		耐風圧・耐塩害対策は適切か		☐	☐	／		

積算チェック項目一覧(電気設備)

H28.4.1適用

No.	項 目	チェック項目	根拠等	受託者		確認 実施日	留意点	備考
				対象	設計 チェック			
544		太陽電池アレイの架台の工事区分及び高さ等は適切か		☐	☐	／		
545		建築との調整を行ったか(積載荷重等)		☐	☐	／		